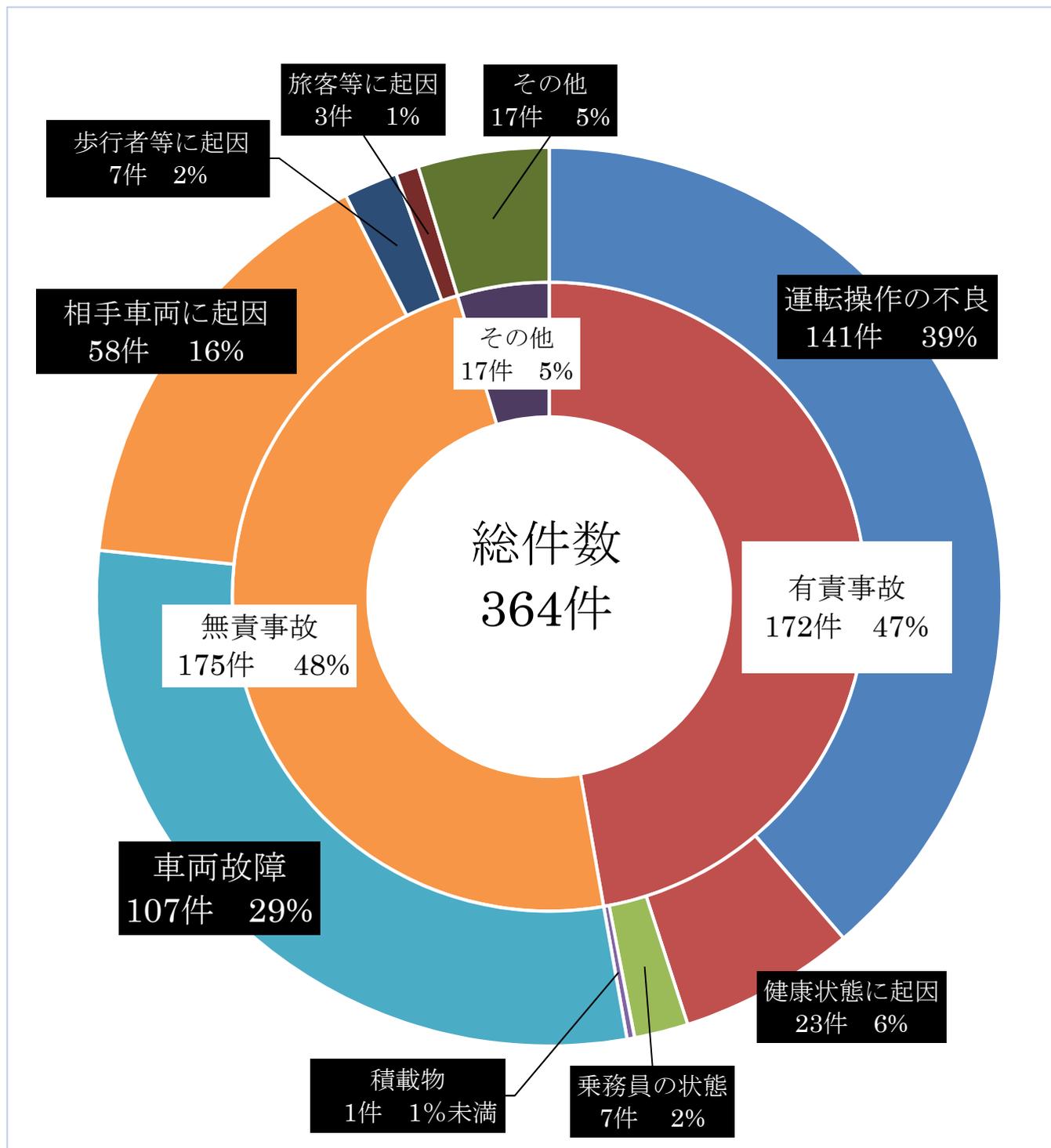


### (キ) 事故原因別発生状況

事故の原因を事業用自動車の運転者に起因する事故(以下「有責事故」という)と相手側に起因する事故等(以下「無責事故」という)に分けると、[図 13]のとおり有責事故が172件(47%)、無責事故が175件(48%)で、有責事故の方が若干低い割合を占めている。また、有責事故172件中141件は、運転者の運転操作不良によるものとなっている。

[図 13] 原因別重大事故発生状況



更に、有責事故について、その内容を業態別、事故原因上位3項目をみると〔表 6〕のとおり。業態別にみるとバスは「運転者の健康状態」、ハイタクおよびトラックは「左折、右折不適切」による事故が多くなっている。

〔表 6〕有責事故の状況(第1原因)

業 態	順 位	事 故 原 因	件 数	比 率
バ ス	1	運転者の健康状態	11	29.7%
	2	発車時の安全確認の不良又は不履行	9	24.3%
	3	制動操作不適切	5	13.5%
ハ イ タ ク	1	左折、右折不適切	9	20.9%
	2	漫然運転	8	18.6%
	3	歩行者に対する不注意	7	16.3%
ト ラ ッ ク	1	左折、右折不適切	16	17.6%
	2	脇見運転	13	14.3%
	3	歩行者に対する不注意	13	14.3%

※第一原因のみ集計したもの。